



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1480 回 (27)

会 長 能 登 伸 一
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2022 年 3 月 1 日 (火) 12:30 ～
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の理想 」
ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照)

例会情報 会 長 報 告
幹 事 報 告
出 席 報 告
S A A 報 告
ス マ イ ル 報 告
プ ロ グ ラ ム 情 報
そ の 他 報 告

その他情報 メークアップ情報 (来週分)
メークアップ情報 (再来週分)
今後の行事予定
クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

皆様、こんにちは。まずもって未だコロナが心配な状況の中、本日の例会をこうしてリアルで行うことになって、疑問に思われている方もいらっしゃると思います。先日の理事会でも、休会すべきではないかという意見もありました。そんな中、いろいろな要素があって私が幹事の河村さんとも話し合っただけでリアルでやりたいという想いを理事の皆さんに伝えての結果です。

- ・ コロナの感染予防対策をいままで以上に厳格にする
- ・ 例会は短縮バージョン、弁当は持ち帰る
- ・ 身体的に事情が有る方もおられると想定して100%出席扱い

以上のことを条件として行いますので、どうかご容赦とご理解を賜りますよう、宜しくお願い致します。

さて、今日のプログラムは国際奉仕委員会さんの企画です。先日行われた外国人留学生によるスピーチコンテストの様態です。コロナ禍にあって、国際奉仕として中々できることに制約がある中、竹中委員長は本当に素晴らしいアイデアで良い支援、奉仕ができたと思います。ありがとうございました。12人の外国籍の若者が、緊張しつつも一生懸命訴えかけるように上手な日本語で話していました。私も二人のスピーチについてコメントさせて頂きましたが、その内の一人、ネパール籍の男子留学生が最優秀賞を受賞しました。ネパール視察を盛り込んだ私のコメントも良かったのではないかと勝手に思っています。

そしてまた青少年奉仕委員会、北さんからの呼びかけで3月は子供向けの書籍を収集することになっています。私も何冊か持参しました。

IMの準備について、昨日の打ち合わせも含め、コロナのことも考えながら着々と進めています。

そして、11/25のロータリー奉仕デーのことが、今月の友誌に載りました。

11月にガバナーがここで最後におっしゃったことをちょっと思い出します。コロナ禍で活動するにはいろいろと難しかったけど、終わって見たらやれることはみんな力で合わせてやったなと言えるようにしましょうと。福山西RCはちゃんとやっていますよと言いたいです。

本日もどうぞ宜しくお願いいたします。

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

《第 29 回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト》 (動画鑑賞)



2月26日(土)に外国人留学生を支援する会、ふくやま国際交流協会主催で、広島県東部在住の外国人留学生による日本語スピーチコンテストが開催されました。本年度は対面で福山市立大学の講堂で開催する予定でしたが、コロナウイルス蔓延のため急遽、SRホールディングス セミナールームにてYouTubeライブ配信のみで行われました。アフリカ、東南アジア、台湾、中国からの留学生12名が、自国と社会的および文化の違い、自分の将来の夢、SNSの影響などについて流暢な日本語で述べられていました。その中から3名の留学生が優秀賞に選ばれましたので報告いたします。

最優秀賞 「社会開発における若者の役割」

TAMANG DAL BAHADUR (タマン ダル バハツル)

国籍：ネパール

学校名：教文外語専門学校

優秀賞 「妊娠中の犬と象」

NYAMBURA ANTONY MURIUKI (アントニー ムリウキ ニャンブラ)

国籍：ケニア

学校名：福山大学

優秀賞 「歩行者への優しさ」

林 孟甫 (リン モンフー)

国籍：台湾

学校名：福山平成大学

選考基準は、内容と日本語の正確さなどですが、3名の留学生のスピーチは我々が聞いていても感銘する内容でした。今回選考に漏れた9名の留学生の皆様にもエールを送りたいと思います。

次年度のコンテストの開催が危ぶまれています。その理由は留学生がコロナ禍で来日できないのと、専門学校経営も留学生の減少で苦しい状況が続いています。コロナの影響は今後も続きそうですが、何とかコロナが落ち着いて、沢山の留学生が来日して盛大にコンテストができることを祈ってます。

国際奉仕委員長 竹中 雅彦



【その他報告】

《「ロータリーの友」誌 紹介》

ロータリー情報委員会 登里 孝司



3月は「水と衛星月間」です。

1. 横目次 P5 2021-2022 年度 RI 会長メッセージ

- 2020年3月11日に世界保健機関が新型コロナウイルスのパンデミックを宣言して2年が経過した。疫病予防と治療というロータリーの専門知識を活用し、パンデミックに苦しむ人々の支援を今後も続けて行くことが肝要である。新型コロナで特に大きな影響を受けているのが女兒です。女兒のエンパワーメントは非常に重要な活動です。女兒の教育・医療・経済的機会を向上させるために手を打てば、女兒が持てる力を発揮する際の大きな後押しをすることになる。

2. 横目次 P7～13 地域の水と生きていく

東北地方の1級河川である阿武隈川の「水質保全活動」と猪苗代湖の「水質保全活動」について

- 第2520地区と第2530地区併せて40クラブの賛同を得て、水質浄化と水環境の向上を目的とした「あぶくま清流協議会」が立ち上げられた。阿武隈川を「源流域」「中流域」「下流域」「河口域」の四つに区分し、それぞれで植樹・稚魚放流・生活排水抑制キャンペーン、各種講演会、シンポジウム開催を企画し、活動を積み重ねた。活動が進むにつれ、阿武隈川の水質は見違えるように改善された為、次の活動を水質汚染が進んでいた猪苗代湖に焦点を定め、活動を「ロータリー猪苗代湖水環境協議会」に引き継いだ。2015年には「NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議」へバトンタッチし、ロータリーの手を離れ地域の組織として歩んでいる。現在も県内のロータリークラブやインターアクトクラブも含め、水草回収活動を続けている。

都市養蜂 きれいな水から生まれる新しい奉仕のかたち

- 都市養蜂の蜜源は、近隣の住民がガーデニングで育てる花や桜に加え、ツツジなど街路樹に咲く花で、そこから働き蜂が蜜を集めます。また、都市部の植物は、農薬散布が少なく養蜂に適している。ミツバチはきれいな水と豊かな植物群を求めて生息する環境指標生物である。都市養蜂は、地域と人間の営みが「つながっている」という感覚が湧いてくると同時に、地域コミュニティを活性化させる可能性を秘めている。

3. 横目次 P14~15 ローターアクトの基本

- ローターアクトは、リーダーシップの能力を磨き、世界中に友人を作りながら、社会で起きているさまざまな課題に取り組むことへの意欲にあふれた 18 歳以上の青年男女のためのクラブで、国際ロータリー(RI)の加盟クラブです。

4. 横目次 P16~21 ジェニファー・ジョーンズ RI 会長エレクトメッセージ

- 「イマジンロータリー」これが 2022-23 年度会長テーマです。「イマジン」とは人々に力を与えてくれる言葉であり、世界をよりよくするために何かしたいと思わせる言葉である。会員の皆さんは、成し遂げたい事を考えてロータリーを通してその夢を叶えて欲しい。思考・年齢・文化・ジェンダー・職業に多様性があるのがロータリーである。

5. 縦目次 P4~8 語り継ぐ震災 今、あなたと共に

第 2680 地区 姫路西 RC 特別制作

姫路ケーブルテレビ番組講演要旨

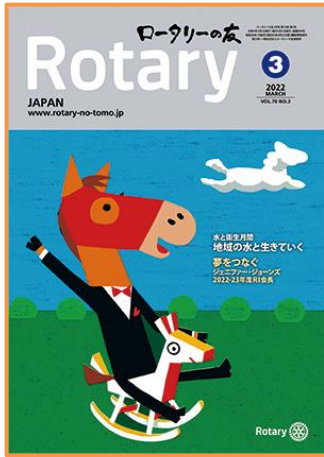
東北大学病院総合地域医療教育支援部助教 菅野 武

- 東日本大震災は、2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分に発生しました。これ以降「垂直非難」が強く言われるようになったが、「上」に逃げても命をつなぐアイテムがなければ意味はない。逃げる「上」には命をつなぐアイテムが必須だという事である。そしてこのような時には「生き抜く」事を第一に考え、どう生き延びるかに集中する事である。自分の命を犠牲にしてまでも助けに行く行動はすべきでない。まず自分が生き残らないと、次の人を助ける事ができない。次の人を助けられてこそ人は素晴らしいと思ってほしい。ここ数年、温暖化による今までに経験したことがないような台風・水害が繰り返し発生している。このような災害からの復興期もこれまで経験した事がないという事です。難しい問題ですが、今を生きる者だけの町づくりではなく、次の世代にどのように残せるか、という事に重点を置いて議論する必要がある。バトンを次の世代に渡していくことで私達の経験や思いが受け継がれていく。次の世代へ残していく作業が出来た時が、本当の復興になる。

6. 縦目次 P21 ロータリーアットワーク

未来の支援に向け特別支援学校参観 福山西 RC

昨年 11 月 25 日に我クラブが実施した「ロータリー奉仕デー」の様子が載っています。(鞆の浦 RC、広島県中小企業家同友会)



CONTENTS **Rotary no Tomo 3**

1 巻頭 編集者メッセージ

2 地域の水と生きていく

3 NEW ORGANIZATION

4 特別企画

5 特別企画

6 特別企画

7 特別企画

8 特別企画

9 特別企画

10 特別企画

11 特別企画

12 特別企画

13 特別企画

14 特別企画

15 特別企画

16 特別企画

17 特別企画

18 特別企画

19 特別企画

20 特別企画

21 特別企画

22 特別企画

23 特別企画

24 特別企画

25 特別企画

26 特別企画

27 特別企画

28 特別企画

29 特別企画

30 特別企画

31 特別企画

32 特別企画

33 特別企画

34 特別企画

35 特別企画

36 特別企画

37 特別企画

38 特別企画

39 特別企画

40 特別企画

41 特別企画

42 特別企画

43 特別企画

44 特別企画

45 特別企画

46 特別企画

47 特別企画

48 特別企画

49 特別企画

50 特別企画

51 特別企画

52 特別企画

53 特別企画

54 特別企画

55 特別企画

56 特別企画

57 特別企画

58 特別企画

59 特別企画

60 特別企画

61 特別企画

62 特別企画

63 特別企画

64 特別企画

65 特別企画

66 特別企画

67 特別企画

68 特別企画

69 特別企画

70 特別企画

71 特別企画

72 特別企画

73 特別企画

74 特別企画

75 特別企画

76 特別企画

77 特別企画

78 特別企画

79 特別企画

80 特別企画

81 特別企画

82 特別企画

83 特別企画

84 特別企画

85 特別企画

86 特別企画

87 特別企画

88 特別企画

89 特別企画

90 特別企画

91 特別企画

92 特別企画

93 特別企画

94 特別企画

95 特別企画

96 特別企画

97 特別企画

98 特別企画

99 特別企画

100 特別企画

CONTENTS **Rotary no Tomo 3**

1 巻頭 編集者メッセージ

2 地域の水と生きていく

3 NEW ORGANIZATION

4 特別企画

5 特別企画

6 特別企画

7 特別企画

8 特別企画

9 特別企画

10 特別企画

11 特別企画

12 特別企画

13 特別企画

14 特別企画

15 特別企画

16 特別企画

17 特別企画

18 特別企画

19 特別企画

20 特別企画

21 特別企画

22 特別企画

23 特別企画

24 特別企画

25 特別企画

26 特別企画

27 特別企画

28 特別企画

29 特別企画

30 特別企画

31 特別企画

32 特別企画

33 特別企画

34 特別企画

35 特別企画

36 特別企画

37 特別企画

38 特別企画

39 特別企画

40 特別企画

41 特別企画

42 特別企画

43 特別企画

44 特別企画

45 特別企画

46 特別企画

47 特別企画

48 特別企画

49 特別企画

50 特別企画

51 特別企画

52 特別企画

53 特別企画

54 特別企画

55 特別企画

56 特別企画

57 特別企画

58 特別企画

59 特別企画

60 特別企画

61 特別企画

62 特別企画

63 特別企画

64 特別企画

65 特別企画

66 特別企画

67 特別企画

68 特別企画

69 特別企画

70 特別企画

71 特別企画

72 特別企画

73 特別企画

74 特別企画

75 特別企画

76 特別企画

77 特別企画

78 特別企画

79 特別企画

80 特別企画

81 特別企画

82 特別企画

83 特別企画

84 特別企画

85 特別企画

86 特別企画

87 特別企画

88 特別企画

89 特別企画

90 特別企画

91 特別企画

92 特別企画

93 特別企画

94 特別企画

95 特別企画

96 特別企画

97 特別企画

98 特別企画

99 特別企画

100 特別企画

《各種表彰等》

・誕生日



2月16日 北村 富喜子 さん、 2月17日 能登 伸一 さん、
2月28日 松井 宣久 さん



• 皆出席



連続皆出席 12年 古井 正則 さん

